

法定外繰入を減らし、国保税値上げ中止を！

伊那民報

発行：日本共産党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
HP：jcp上伊那

12月議会で、伊那市側は「国保基金残高が底をつく」と国保税率を上げざるを得ない」と表明。共産党市議団は「全国的に一般会計から法定外繰入を一人1万円行い負担軽減している。他の健康保険より負担が重い。伊那市も法定外繰入を行い、国保税率を上げるべきでない」と主張しました。1月23日、国保運営協議会に伊那市は、18・67%の国保税値上げを諮問しました。

法定外繰入とは：市町村の一般会計から国保会計への負担割合は国の法律で決められています。これを超えて繰入れることを言います。日本中で3千億円の法定外繰入が行われています。県内では9市で1人平均6580円の法定外繰入が行われています。上伊那では南箕輪村が繰入れています。

雇用を増やし、国の負担増を

日本共産党は、「国民健康保険の加入者は、収入の少ない非正規雇用の方や年金生活者の割合が増えていることが赤字の一の原因、正規雇用を増やすことが必要。国が市町村国保への負担割合を50%から約23%に下げたことも国保加入者の負担を増やしている。国の負担を増や

し、最低限の生活費や商売に必要な経費への違法な差し押さえは止めよ」と国会でも追及して

藤野保史新代議士も参加して 上伊那地区党の党旗開き

藤野保史新衆議院議員を迎えて、共産党上伊那地区の党旗開きが1月10日、西町公民館で開かれました。

年末の総選挙で躍進した共産党の勢いそのままに、110名を超える笑顔の参加者で会場は熱気にあふれました。藤野新代議士は、胸に輝く議員バッジを示しながら「国会議員のこのバッジは皆



腕を組んで「ガンバロー」を合唱

さんの奮闘の証です。長野の皆さんの要望実現に向け、皆さんと大きくなった国会議員団の力を合わせてがんばります」と力強くあいさつしました。また、4月の一斉地方選挙に臨む小林伸陽県議らの力強い決意表明と、来賓として参加された仲友会会長の岡武さん、長野県保険医協会の鈴木会長ら各団体代表あいさつの後、賑やかに新年会が行われました。

います。伊那市の国保加入者の37・3%は非課税世帯です。年収166万円で3人世帯（40才〜65才）で、2万3000円アップして17万3700円、収入の10・46%にもなります。党市委員会は、伊那市が、他の市町村と同様に法定外繰入を増やして、国保税率の改定をやめるよう、国保税値上げを阻止するための行動を呼びかけています。



地蜂

収入が200万円以下いわゆるワーキングプアの人口が1069万人、生活保護161万世帯。アベノミクスの陰で国民は苦しんでいる▼伊那市では国保税を1万2308円アップ（18・67%）を示唆しているという。これは所得100万円、2人加入で15万円弱になる。国保に世帯主加入者が39・3%で給与所得者、50%は年金生活・その他で、一番低所得者が加入しているのが国保である。1万1194世帯のうち60%は所得200万円以下、滞納世帯1691、差押え88（2014年12月時点）。国保アップでは生活困窮者は国保税も払えず、医者にもかかれず生存権を脅かす▼昔の殿様は城下の煙を見て、庶民の夕餉と暮らし向きを読み政をしたそうだ。今の首長は庶民の暮らしを読む資料には事欠かない。「国保不足分は一般会計から繰り入れを」、これが民意ではないか。伊那市の資料は情報開示請求をしてようやく確認出来たことを申し添えたい▼旗びらきで長野県保険医協会会長の鈴木信光先生は「子供の医療費窓口無料化したら総医療費が下がった自治体がある。また大企業にポイントを持っていかれる消費税そのものに保険医協会として反対する」と述べられた。共産党の政策と共有している。さあ衆院選躍進を現実のものに、いっせい地方選。

(E・K)

「戦争体験を聞く会」を開催

地元在住の方から・美篤9条の会

美篤9条の会は1月11日、ホッ
トセンター美篤で「戦争体験を聞
く会」を開催し、地区外からも含
めて24名が参加しました。

松下千寿海さんは、満州へ軍属
として配属され終戦となり、収容
所で捕虜生活を送り、戦後は北朝
鮮から長い道のりを野宿をするな
どして苦労しながら歩き帰還しま
した。

春日輝海さんは、戦時中は大学
生で東京大空襲により多くの人が
亡くなる残酷さを目の当たりにし
ました。

また、上柳優二郎さんは、満州

へ行き終戦により軍隊は解散になっ
たが満州からシベリヤへ抑留され、
食糧も充分なく厳しい労働の中で
多くの人が亡くなることなどを体
験したことを語りました。

3人はそれぞれの体験を通して
の戦争の理不尽さ、残酷さなどを
語り、二
度と再び
戦争をし
てはなら
ないと強
く話を結
びました。



体験を語る松下千寿海さん（中央）

200円バス実現へ 政策検討はじめる

昨年4月の市議選で、
日本共産党が公約した2
00円バスの実現に向け
て政策作りをはじめます。
「地域交通政策づくり
入門」などをテキストに、
交通権と憲法との関連や
公共交通論などを学びな
がら推進します。

学習会 2月20日

午後7時 民主会館

東日本大震災 釜石大槌支援チャリティ あるみかん コンサート

2月22日2時よりいなっせで行います。
ケーナ・オカリナ・おもしろ楽器をハー
プの伴奏で、うたごえサークル「ざざむ
し」とは「希望の歌」「広い河の岸边」
などの曲を笛で共演します。
12時からにはホワイエで支援隊の写真展・
物産展・お茶っこを行いますので、大勢の
皆さんのお越しをお待ちしております。こ
のコンサートでの収益で今年も何回か支援隊
として現地に参りたいと考えています。

北原有



高遠町9条の会 憲法を語る会

高遠
町9条
の会は、
24日、
高遠町
福祉セ
ンター・
やます
そで憲
法を語
る会を
開催しました。10名の参加者
は憲法に対する想いや、戦争
の体験などを語りあいました。
今後に向けての意見も交わ
され、憲法を守る仲間を広げ
る活動のスタートとなりました。



憲法を守る取り組みについて話し合う参加者

「原発なくせ」 「今すぐ廃炉に」 いな金行動 100回を突破！！

福島原発事故から4年になろう
としています。さよなら原発上伊
那の会（事務局・上伊那医療生協
組合員センター内）が、毎週金曜
日午後6時から、いなっせ北側広
場で「原発いらぬ」「今すぐ廃
炉を」など原発の恐ろしさや避難
を強いられている人々の状況を通
行人に訴え続け、1月23日（金）
で100回になりました。

「原発を早くなくして」「いま
だに避難生活者が12万人もいると
は驚いた」「ガンバってください」
等多くの人から期待や激励が寄せ
られています。

事務局

では、
「5分
でも10分
でもいい
ので、ぜ
ひ参加
してくだ
さい」と
呼びか
けていま



30余名が参加した100回目のいな金行動

リニアの工事は危険がいっぱい

中川村リニアを考える会主催第2回学習会が1月17日午後、中川村文化センターで開かれ、上伊那各地から約110人が参加しました。

賛成、反対を言う前にもっと事実をよく知ろうと企画、南アルプスの地質研究の第一人者で理学博士の松島信幸さん（高森町）と環境科学に詳しい桂川雅信さん（中川村）が講演しました。

松島さんは、ルート上に確認されている活断層がいつ動

くかわからないことや、南海トラフ地震で南アも被害を受ける可能性を指摘。桂川さんは、南木曾や広島県の土石流・土砂災害を検証し、各地での局地的豪雨の頻発といった環境の変化があることから、リニア工事ではこれまで「想定外」とされてきた巨大災害を想定に入れる必要性、トンネルの廃土で谷を埋めることの危険性を訴えました。

参加者からは「知らないことばかりで驚いた。災害が起

きたときのことを考えると恐ろしい」などの感想が語られました。リニア工事が地域に及ぼす影響について、今後もしリーズで学習会を開催していくとしています。



会場を埋め尽くした参加者

市民と議員の意見交換会

飯島光豊



議員は議会でのようなことをしているのか。もっと市民に説明する機会があってもいいのではないか。議員と率直な意見交換をしたいという市民の声に

で意見の交換をします。もちろん誰でも参加できます。（日時や会場、テーマ等は後日周知）

交換をしたという市民の声に、議会改革特別委員会（飯島光豊委員長）で検討を続けてきた。このほど「市民と議会との意見交換会」を行うことが、全議員の賛成で決まりました。

市民の皆さんからは、どんなテーマで意見交換したいか、事前に議会に寄せていただきたいと思います。

開催は今年8月下旬の夜の3日間。市内3会場（伊那竜西・伊那竜東・長谷高遠）で、全議員が出席し、市民要望にもとづくテーマ

議員には、市民の意見を直接聴く機会が与えられ、それらの意見は「二元代表制」によって、行政の批判、監視、チェック、政策立案などで市民に結果を返していく能力が求められることとなります。

シリーズ ぶろ & フロ 17

正月に思ったこと
建石繁明

今年には敗戦後70年。「平和のための信州・戦争展」第27回が、8月13・14日に伊那文化会館で予定されています。

戦争は狂気の沙汰、人類が犯してきた最大の不幸です。戦争の愚かさ、人権侵害の歴史と事実を、地域に根ざしながら探求し続けているのが「平和のための信州・戦争展」運動です。

過去の戦争は、「正義のため」「平和実現のため」「人間解放のため」等を錦の御旗にたたかわれ、大多数の人々は騙されて戦争遂行に協力してしまい、大勢の人々に多大な犠牲を与えてしまいました。

日本に軍事基地や軍備が本当に必要なのだろうか？世界の恒久平和実現の原点に立ち返って考え、そして行動する年にしたいと考えます。

具体的な行動提案として、戦時中の遺品を収集する絶好のチャンスとして再考して頂きたいと思えます。戦争の遺品（銃や軍刀、手りゅう弾など）だけでなく、戦時中の生活用品の全てが対象となると思います。日記や手紙などは言うまでもなく、あらゆる品物を対象に考えてもらえれば、戦争遺品という既成概念に捕らわれない物の中にこそ、新発見が発掘される可能性があると思います。

過去の伊那市議会でも全議員の賛成によって決定されている「戦争遺品博物館」が、本格的に日の目を見る契機になればと願っています。設置の場所も、一応、創造館が適当と答申されています。皆さんの知恵と協力をお願いします。

随想

職場でのたたかいの中で

東春近 伊藤 嘉徳よしのり (76)

高度成長の入り口で、高校を卒業して18才で諏訪の大手企業に就職しました。私が党に入ったのは、27歳の時です。活発で素敵な女性がいいたからです。

1960年の安保闘争では、労働組合が安保条約反対で15分間のストライキをしました。政治的要求でストを打ったことは画期的なことでした。労働組合は、賃金引き上げをはじめ、経済的要求を中心に取り組んでいましたから。

共産党の職場支部は、賃上げや職場の要求を取り上げた職場新聞「奔流」を発行していました。工場前などで配布し、労働者を励ましたことが賃上げの力になったと思います。会社側からの共産党攻撃が激しくなり、党員への昇進や賃金差別、配置転換などがひどくなってきました。私たちは、攻撃を受けることが共産党員としての勲章だと考えていました。

その後の党の「共産党員は職場で信頼されるように」「差別を受けたらたたかうように」との方針には、勲章が奪われたようで、とても悔しかったことを覚えています。

当時の仲間とは、今でも、時々集まって旧交を温めています。党の専従や退職などで県下各地に散らばっても、それぞれがんばっていることがわかり、楽しみにしています。

今後ますます、経済学の基礎・基本をしっかり学ぶこと、とくに、「企業（資本家）が潤えば労働者に分配される」との論理の誤りや党の綱領の学習が大事だと思います。

党の活動は、計画的で地道に粘り強く取り組むことが大切ではないでしょうか。(談)

催し案内

- ☆ 飯島光豊後援会「新春のつどい」
2月8日(日) 午後3時～
渡場すこやか館 参加費 1000円
連絡先 渡辺光博 (72-4748)
- ☆ 東日本大震災釜石大槌支援チャリティ
あるみかんコンサート
共演 歌声サークルざざむし
2月22日(日) 午後2時～
いなっせ6階ホール、12時～ ホワイエ
にて支援隊の活動写真展示・物産展
料金 一般2000円 (ペア券3000円)
高校生以下 無料
- ☆ 第6回太陽光発電裁判
2月25日(水) 午後1時30分～
於：長野地裁伊那支部
連絡先 支援する会 (96-0224)
- ☆ 第47回春闘学習集会
2月27日(金) 午後6時30分～
伊那市振興公社 (旧伊那勤福センター)
講師 阿藤 満政さん (県学習協会会長)
参加費 500円
主催 2015春闘学習集会実行委員会
連絡先 地区労連 (73-3858) 学習協・高橋忠

風物詩

糸寒天づくり
(東春近田原)



撮影 伊藤権司さん (東春近)

- ☆ 「脱原発」いな金行動
毎週金曜日午後6時～6時半
いなっせ北側広場
主催 さよなら原発上伊那の会
連絡先 医療生協組合員センター (79-8702)